

丹鶴叢書

繪師草紙 完

093.1

2006

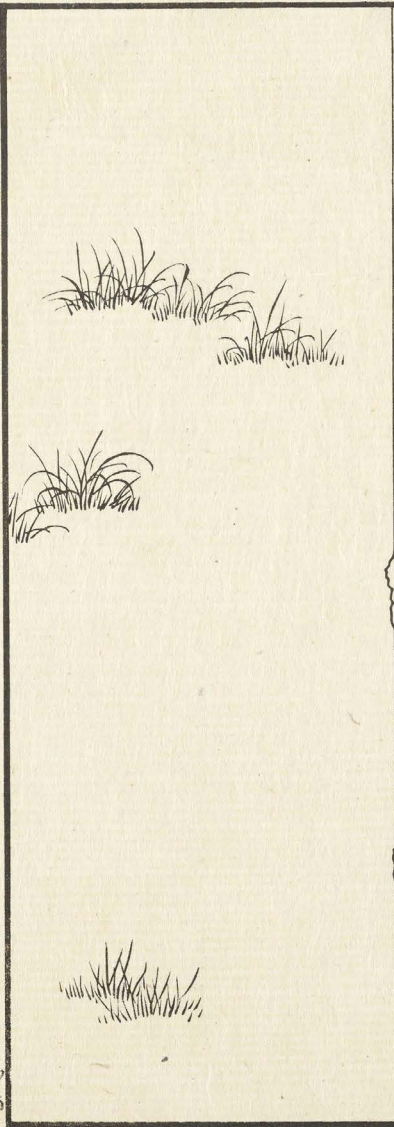
佛教大学図書館



2005494909

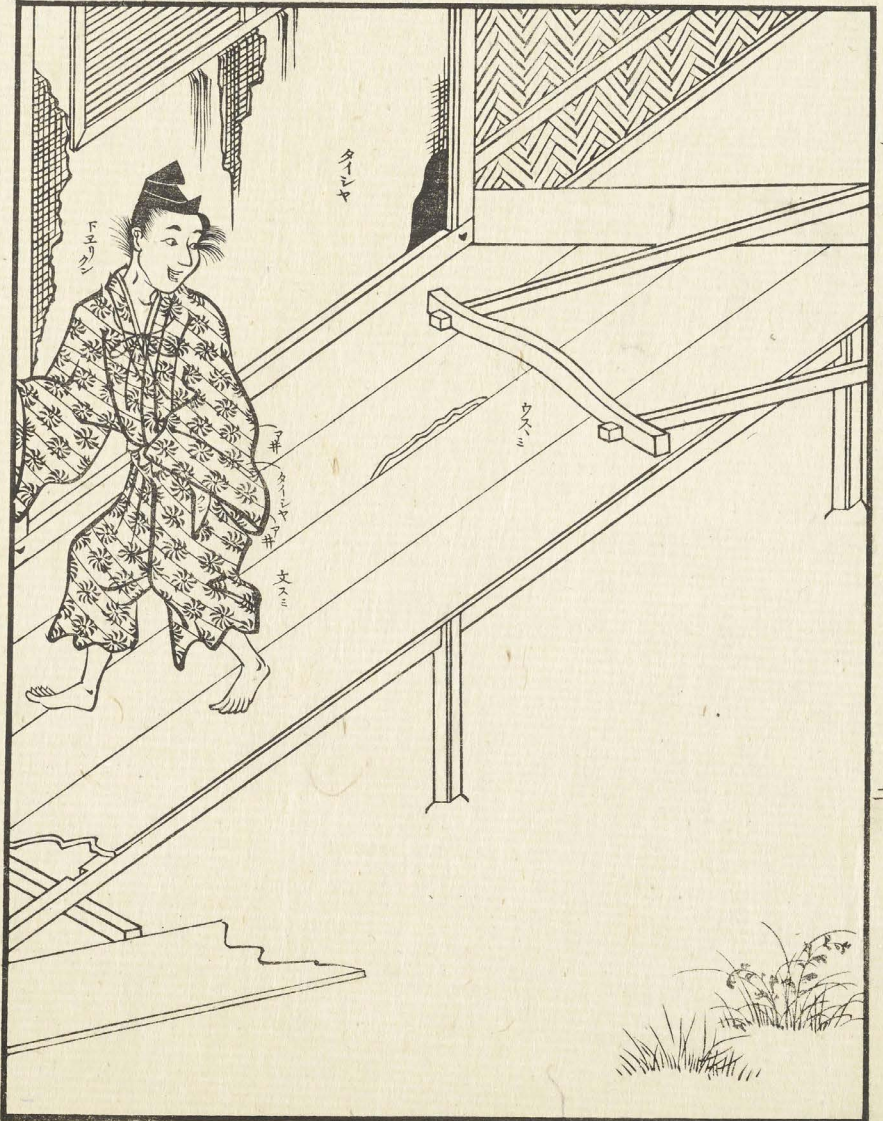
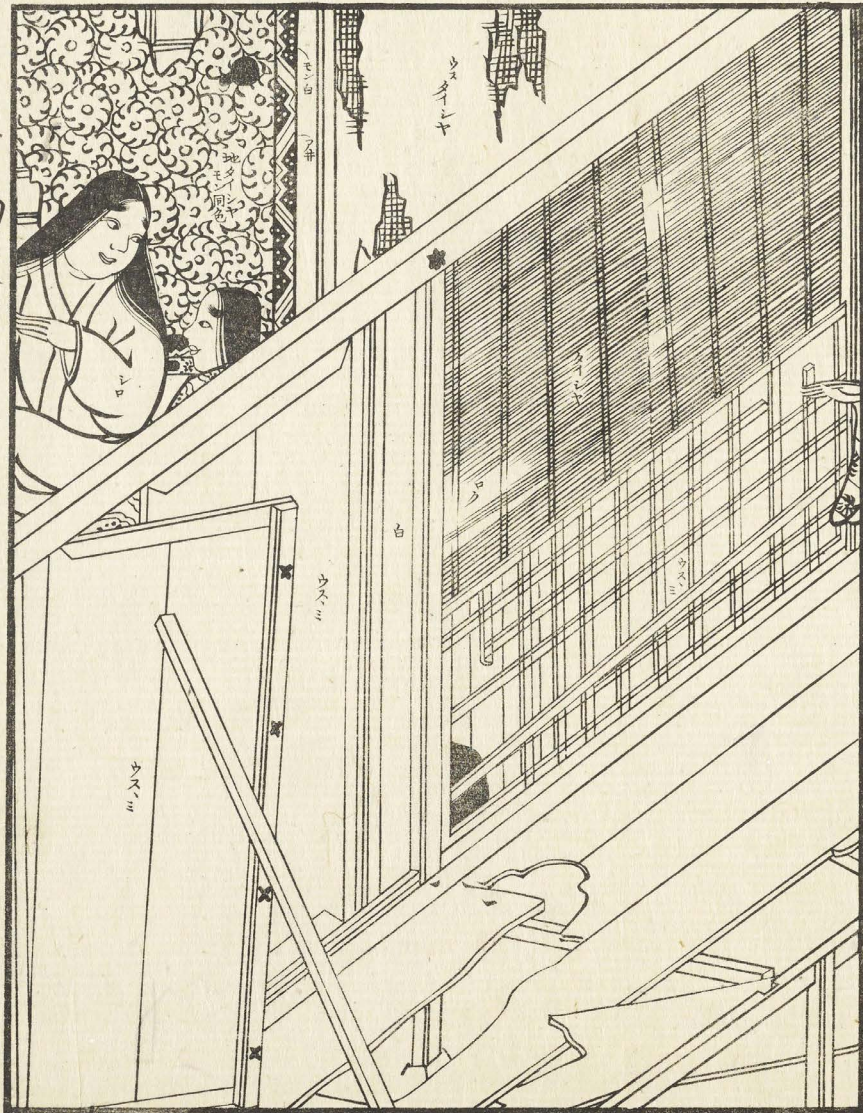


一聲のあはれまのふりかへりて酒又
もさるる使もさるるにさるるのさるる
たるはれに酒さるるにさるるのさるる
さるるのさるるのさるるのさるるの
さるるのさるるのさるるのさるるの



画師









結婦の別と云ふは
 まし〜
 先も〜

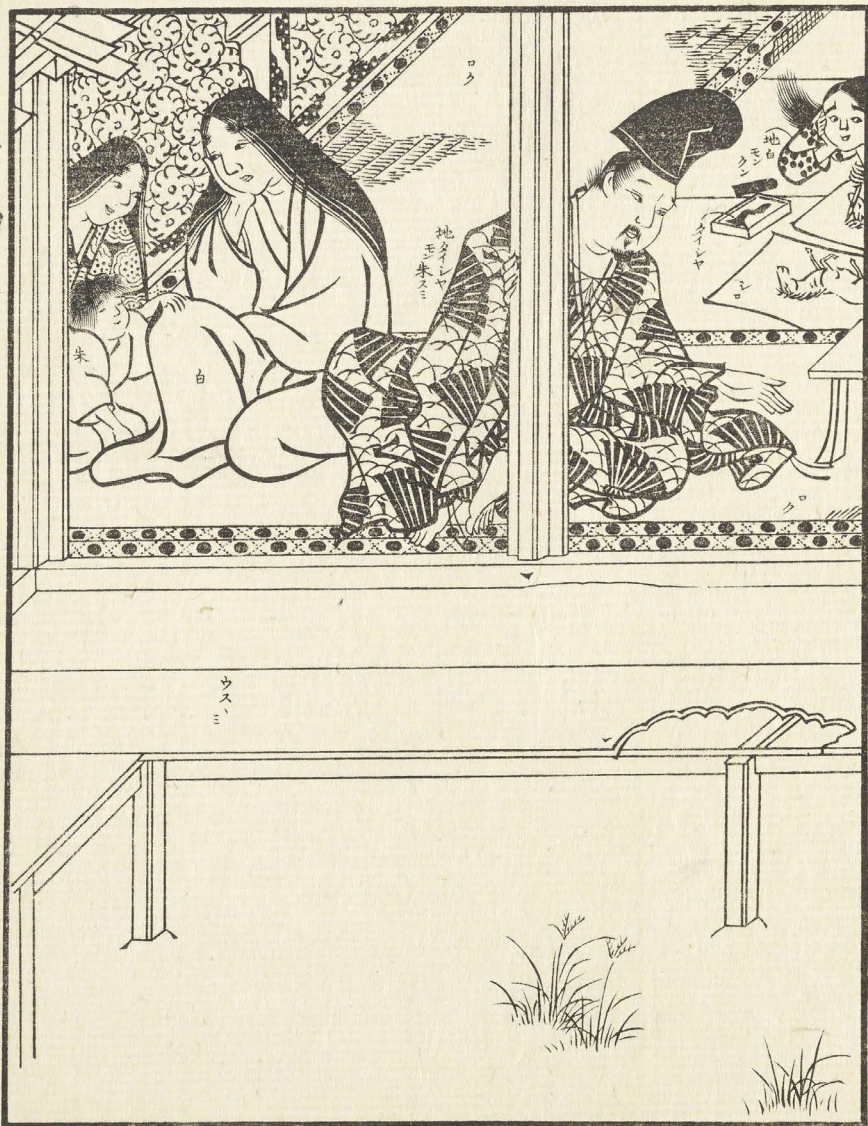
画師

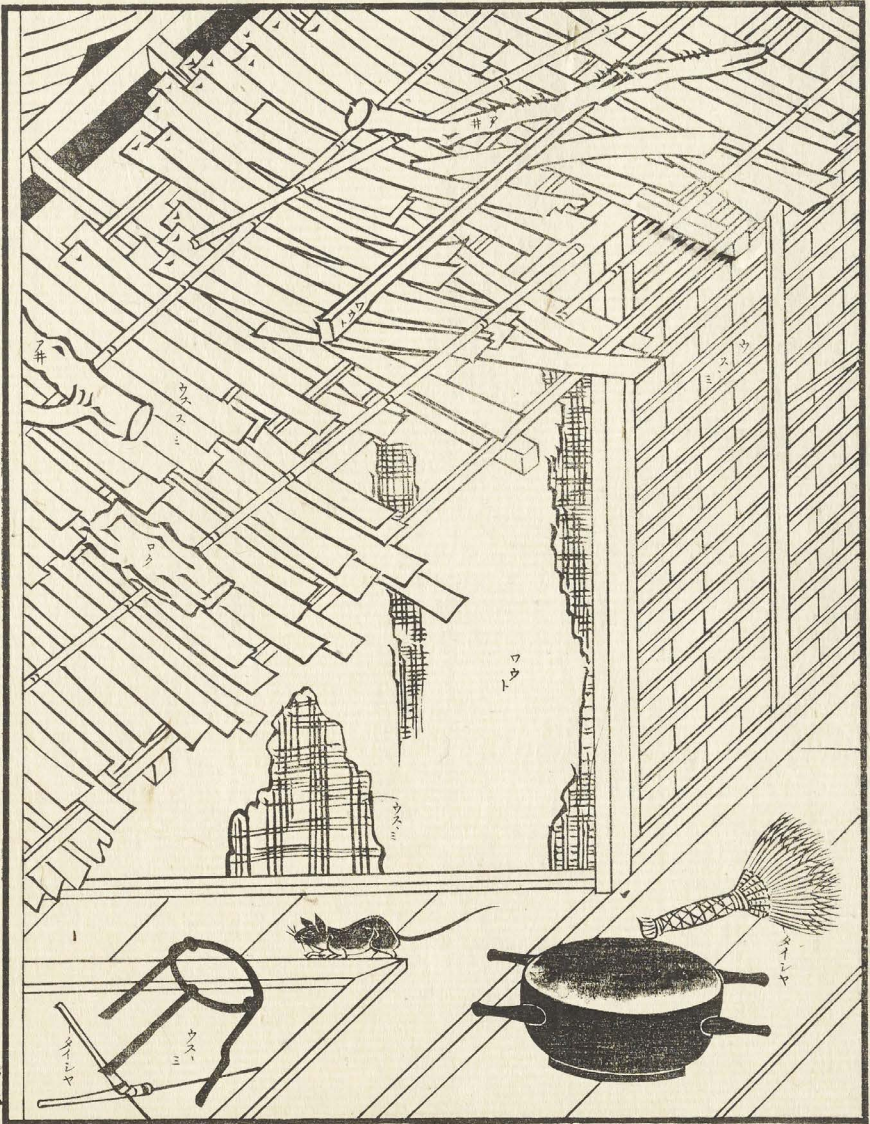


草
 タイシヤ
 スミカキヤ
 産ロク
 クマ

垣
カスミ

丹波農書





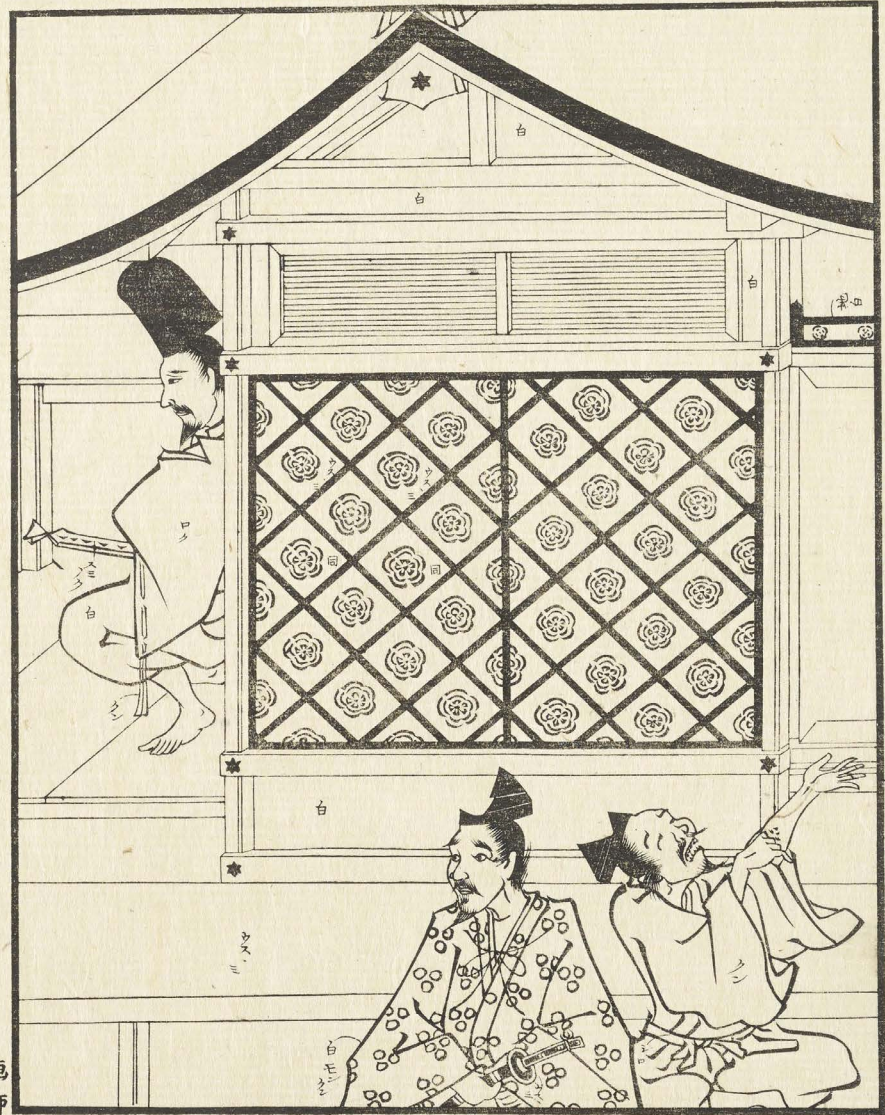
西師

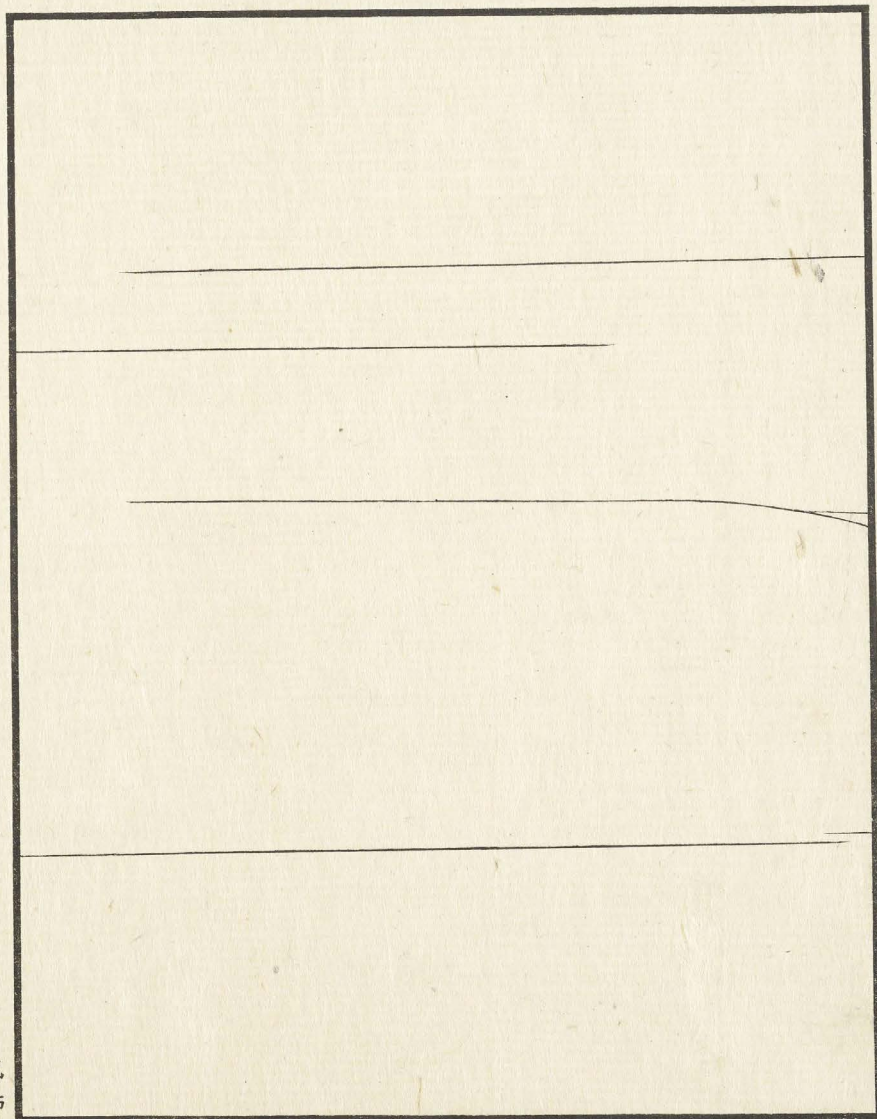
法勝寺の并の宿舎の天井の梁は
 柱に掛けお寺の梁は柱に掛け
 一筋の便りは何れにもあるの
 寺に寄るの事喜ばしむるはた
 かなし又本自りたるの領事
 あなと顔子一筆の念志のい

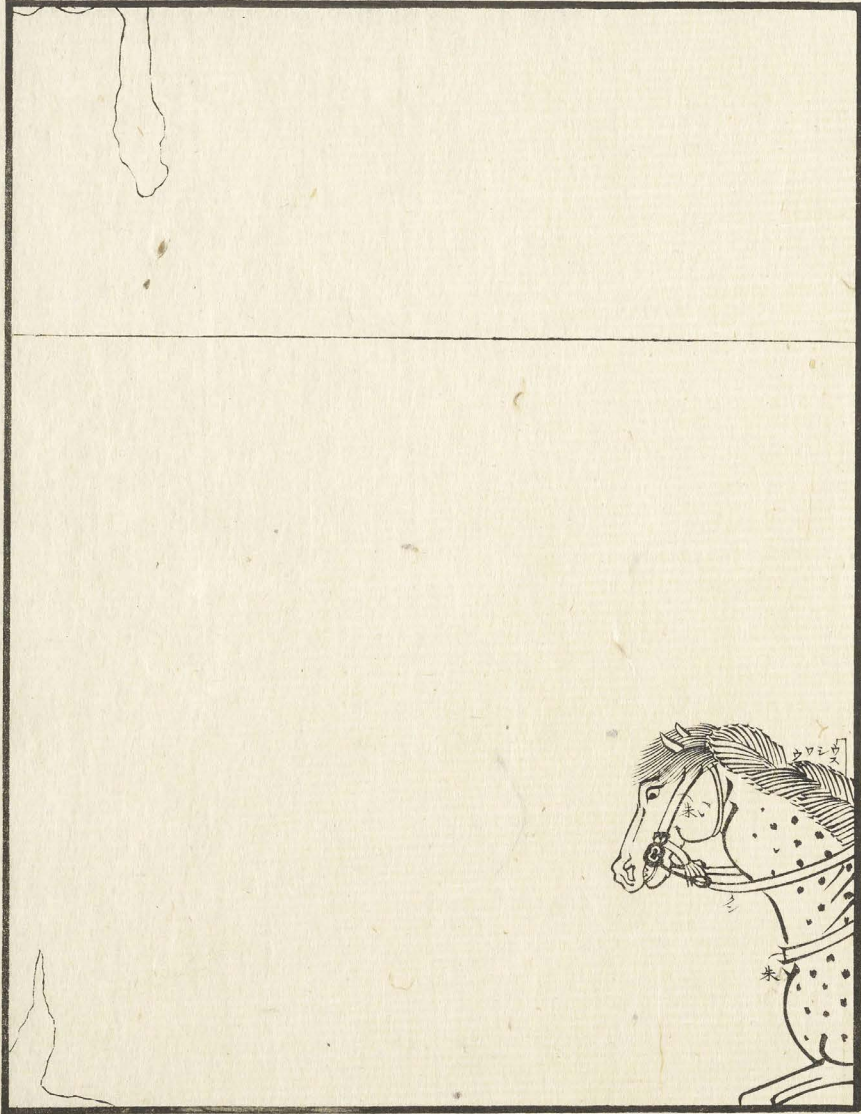
昔者吾人遊於名園之中見一
 人於花下獨坐其意甚閒然
 其衣冠楚楚其容止肅然
 予心悅而樂之遂問其姓名
 曰予名某字某居某處也
 予聞其名已久矣今始得見
 其人之風采真非尋常可比
 予因與之談笑甚歡遂相
 約以明日再會於此園中
 以盡今日之歡也

畫屏









画
师

